



緑肥の王者、更なる進化へ

ヘイオーツ 【エンバク野生種】



ヘイオーツの特性

- 発芽・初期生育が良好
- 分けつが多く、極多収
- すき込み易く、土壌中での分解が早い
- ダイコン、ニンジン等の根菜類の大敵：キタネグサレセンチュウを退治します。
- ニンジン、ゴボウ等の大敵：キタネコブセンチュウを減らし、被害を少なくします。

播種期

4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬（一般畑地、園芸跡地）
8月下旬～9月上旬（ベッドやタマネギ跡）

播種量

10～15kg/10a（線虫対策には15kg、9月播きは20kg）

施肥量

NPKで各5kg/10a前後

有害線虫対策

近年、畑作物においてもネグサレセンチュウによる被害が問題となっており、線虫が多い圃場では、ジャガイモやアズキで1割以上減収が認められています。この対策に、「ヘイオーツ」のようなエンバク野生種の栽培が普及奨励されています。線虫対策には根量とスタンド形成が良い「ヘイオーツ」を栽培し、根に線虫を捕らえて積極的に密度を減らしましょう。